

「めぐるアート静岡」は、静岡市内のさまざまな場所を会場に、今を生きるアートを紹介する展覧会です。大学、美術館、市民、行政などによる地域連携の美術展として2013年に始まり8回目を迎えました。2016年度から静岡市が主催者に加わるとともに、JR東静岡駅北口前の市有地、アート&スポーツ／ヒロバを暫定5年間の会場とし、身近な場所で規格外のスケール感、あるいは想像力あふれる作品と出会う機会を提供してきました。本年はその5年目、いよいよ最終年となります。

それに向け準備を開始した3月末から5月にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大によって展覧会は開催が見通せない状態になり、いくつかの関連事業も中止せざるをえませんでした。そしてその後の推移のなかで、ヒロバはもとより市内2つの美術館も、様々な対策を講じ、来場者をお迎えできることになりました。

今、私たちはあらためて、人ととの出あいと触れあいの大切さをかみしめています。また、サイトカインストーム（免疫システムの暴走）が身体にとって危険なように、他者への過剰な警戒が、心や社会をむしばみかねないという危険性にも少しずつ気づきはじめています。アーティストは、コロナ禍にあってなお、心の底からわき上がるさまざまな感情、そして彼・彼女にとって最も大切なこと・興味のあることをカタチにしようとしています。

「めぐるアート静岡 2020」は、この地域との関わりを大切にするアーティストとともに、アートプロジェクトというもう一つの日常／非日常、そしてポストコロナに向けた希望の舞台を用意します。

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/17(土)–11/8(日)

いし かみ かずひろ
石上和弘
彫刻家 / 静岡市在住



アーティストトーク 10/24(土) 14:00~14:40

1966 静岡県静岡市生まれ
1991 武蔵野美術大学彫刻学科卒業
主な作家活動
2013 「いちごトリンナーレ2013キッズトリンナーレ」でワークショップ「私の心が雲に乗る」(愛知)
2015 「めぐるアート静岡」静岡県立美術館
「神戸ビエンナーレ アートインコンテナ国際展」準大賞受賞(兵庫)
(2009,2011年も出品)
2017 「第27回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)」島根県吉賀町、市民賞受賞(山口)
2018 「めぐるアート静岡」東静岡アート&スポーツ／ヒロバ(静岡)
2020 「めぐるアート静岡+」グランシップ(静岡)



《道の作り方》「めぐるアート静岡2018」

石上和弘は、おもに木を素材に堅実かつ親しみやすい彫刻を作る。今展は3点の出展予定である。2017年、第27回UBEビエンナーレ(山口県宇部市)で市民賞ほかを受賞した『アフター・アップル』。2018年の本展作品作『道の作り方』に少し手を加えたもの。そして芭蕉の皮をモチーフとした新作である。迫力ある3点が並び立ち、人々がその間を散策するとき、広い芝生広場がどのような景色に変貌するのか、刮目して待ちたい。

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/17(土)–11/8(日) ワークショップ 10/17(土) ※詳細は裏面の 関連イベントをご覗ください

いわ の まさ ひと
岩野勝人
彫刻家 / 京都府在住



アーティストトーク 10/17(土) 13:00~13:30

1961 徳島県三好郡三加茂町(現・東みよし町)生まれ
1988 京都市立芸術大学美術学部彫刻専攻卒業
1990 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
主な作家活動
2008 「IWANO MASAHIKO 現代アートによる徳島再見!」徳島県立近代美術館(徳島)
2012 「懶絵しおり芸術祭2012」島根県隠岐諸島西ノ島(島根)
2014 「Erosion/Transfiguration-侵食と変容の先の関係性へ」瑞雲庵(京都)
2016.1 「めぐるアート静岡」静岡市美術館(静岡)
2016.10 「めぐるアート静岡」東静岡アート&スポーツ／ヒロバ(静岡)
(以降、「17・18・19年も参加)



ワークショップ「色とカタチと空間、そして光」「めぐるアート静岡2019」

2016年にスタートした彫刻家・岩野勝人による「コンテナ・アートベース」プロジェクトも足掛け5年、今年度で当初の期間を終了する。これまで、「アートの秘密基地」には人型の座れる真っ赤な彫刻「メンタル・チア」をはじめ、等身大の「キリン」や「ゴリラ」、「青い人」が次々と登場してきた。今年は、昨年も開催したワークショップ「くもならべ」がパワーアップ。みんなが描いた雲を、作家が大きく立体的な「雲の群れ」にして、アートベース前のヒロバに設置する。

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/17(土)–11/8(日)

ちば こう いち
千葉広一
アーティスト / 静岡市在住



アーティストトーク 11/7(土) 17:00~17:30

1967 埼玉県浦和市(現さいたま市)生まれ
1992 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業

主な作家活動
2012 個展「いつか・どこか・きっと」ギャラリーsensenci(静岡)
2012 「MAX A5 2012」KONTORS Galleri(デンマーク)
2013 「写真新紀元2013」佳作 東京都写真美術館(東京)
2014~2016 静岡新聞日曜版に詩人平田俊子のエッセイ挿画として作品連載(全88回)
2016 「めぐるアート静岡」田マッケンジー住宅、東静岡アート&スポーツ／ヒロバ(静岡)
2017~2019 「めぐるアート静岡」東静岡アート&スポーツ／ヒロバ(静岡)



(Instagramの画像から) 2012~2020

軽やかなもの、こわれやすいもの、傷つきやすいもの、身近なもの、さりげないものの、千葉の作品は、誰もが秘める心のゆらぎを映します。思春期、孤独、不安、眠り、家族、別れ、旅立ち。。。映像で、それもネット環境のライトな感覚で、季節、花、草、日の光、風、海、水、雨、雪を見つめる。ヒロバの車掌車で、そしてInstagramで。

静岡県立美術館 10/20(火)–11/8(日)

うすいりょうへい
臼井良平
美術作家 / 東京都在住



アーティストトーク 10/20(火) 15:30~16:10

1983 静岡県藤枝市生まれ

主な作家活動
2016 個展「Objects on a table」UTRECHT(東京)
2017 「驚異の超絶技巧！明治工芸から現代アートへ」
~19 三井記念美術館(東京)、岐阜県現代陶芸美術館(岐阜)、山口県立美術館(山口)、
富山市水墨美術館(富山)、あべのハルカス美術館(大阪)
2019 「三旅茶会」横津美術館庭園内、斑鳩庵・清瀬亭(東京)
「小村雪岱スタイル 江戸の枡から東京モダンへ」岐阜県現代陶芸美術館(岐阜)
2020 個展「Solid, State, Survivor」無人島プロダクション(東京)



ガラスを用いて製作したペットボトル等のプラスチック容器を中心に、写真、自然物、既製品など多様なメディアを交えた展示、インスタレーションを展開している。本展覧会では現在の社会状況や静岡の土地柄を反映させたモチーフに、今を生きる等身大的生活者の姿を重ね合わせたインスタレーションを試みる。

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/17(土)–11/8(日)

ひづ めあきお
日詰明男
アーティスト / 川根本町在住



公開制作 10/18(日)、10/19(月) 10:00~16:00
アーティストトーク 11/1(日) 13:00~13:40

1960 長野県長野市生まれ
1987 京都工芸織維大学建築学科卒業

主な作家活動
1994 「眼の宇宙ーかたちをめぐる冒険」兵庫県立近代美術館(兵庫)
2006 「美術館フンダーランド 夏の思いで 今を生きる」安曇野市豊科近代美術館(長野)
2008 個展「星ボックル茶寮」京都芸術センター(京都)
2010 「黄金比のカタチ」静岡市美術館(静岡)
2016 「めぐるアート静岡」東静岡アート&スポーツ／ヒロバ(静岡)
2017 「Quasi-Crystal Sculpture」JAPAN HOUSE(サンパウロ)
2018 「Fibonacci Tunnel」CAFAM(ロサンゼルス)



《竹の星籠》パンブーストック・フェスティバル「めぐるアート静岡2016」撮影:石川綾子

日詰明男は、大学で建築を学んだ後、30年来、自然界の様々な形の中にあらわれる不思議な比率、黄金比に基づくフラクタル構造を造形や音楽で表現する仕事を続けている。2016年、「めぐるアート静岡」ヒロバ会場で「黄金比の実験都市in東静岡」を発表、「パンブーストック・フェスティバル」を開催した。今回は、巨大な竹の星籠「Giant Bamboo Star Cage」をヒロバで制作する予定。

静岡市美術館 10/20(火)–11/8(日)

わたりどりけいかく
ワタリドリ計画
(麻生知子・武内明子)



アーティストトーク 10/20(火) 13:00~13:40

麻生知子 / 画家

1982 埼玉県生まれ、現在、神奈川県在住
2009 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業

武内明子 / 画家

1983 熊本県生まれ、現在、熊本県在住
2008 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業



渡り鳥が暖かい場所と餌を求めて飛んでいくように、麻生知子と武内明子が展示場所と作品の題材を求めて日本全国を飛んでいく、アートプロジェクト「ワタリドリ計画」。2009年5月、第1回札幌展を皮切りに、同年10月には、静岡アートギャラリー最後の展覧会に「飛来」した。それから11年、10周年を迎えた静岡市美術館にふたたびやってくる！

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 10/17(土)–11/8(日)

ふく い よう
福井揚
アーティスト / 揖斐市在住



アーティストトーク 10/24(土) 13:00~13:40

1978 滋賀県東近江市生まれ
2005 カンサスシティー・アートインスティテュート陶芸学科卒業
2008 ネバダ州立ラスベガス大学彫刻学科 大学院修了

主な作家活動
2009 個展「Future Imperfect」David Salow Gallery(ロサンゼルス)
2012 「Defeat the Future」UIC Contemporary Arts Collective (ラスベガス)
2017 個展「Hey Yo! RYU Gallery(富士宮市)
2018 個展「Know You, Know Me」かわらミュージアム(近江八幡市)
2018 個展「Death is Not the End」ボタニカ・アートスペース(静岡市)
2019 個展「直觀天国」ギャラリーNEW新九郎(小田原市)



《thing》2018 撮影:裁谷均

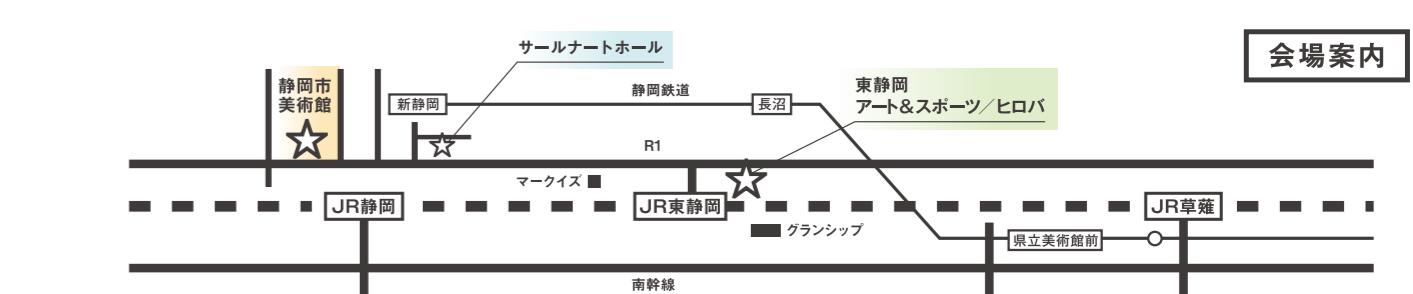
福井揚はポップな彫刻陶芸と、極彩色のフェルト片で蔽われた名状しがたい「モノ」を創る。その「非実用的で馬鹿げた」行為によって、時代の閉塞や文化状況に風穴をあけ、心の底深く眠る野性を目覚めさせる。彼の作品は技法も様式も多様で、意味も意図も捉えがたい。来場者は、福井の生きる力やかな謎の前にたたずみ、作品の生命、その不思議なさわめきを感じることになるだろう。

静岡市美術館

〒420-0852
静岡市葵区緑屋町17-1葵タワー3F
Tel:054-273-1515
開館時間:10:00~19:00
休館日:月曜日
JR静岡駅北口より徒歩3分

静岡県立美術館

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
Tel:054-263-5755
開館時間:10:00~17:30
休館日:月曜日
JR草薙駅から静鉄バス県立美術館行き約6分
静岡県立美術館前駅から徒歩約15分、
または静鉄バスで3分 ※駐車場あり(有料)



会場案内